

輝ける
未来の扉

税理士の未来を決める 税務調査の神髄

平成28年

10月27日 木

14:00-16:00 (受付開始13:30)

受講料：5,000円 (資料代・税込み)

会場：TAP高田馬場

(JR山手線・西武新宿線「高田馬場」駅戸山口より徒歩約3分)

定員
60名様
限定

各会員
割引あり
※裏面をご参照ください。



お申込み多数の場合は、事前に締め切らせていただきます。
また、事前入金による先着順とさせていただきますので、予めご了承ください。

講師紹介



鳥飼 重和 氏

鳥飼総合法律事務所
代表弁護士

プロフィール

長年、日本税理士会連合会の顧問弁護士を務めた。
弁護士業界における税務のパイオニアでもある。
日本経済新聞社の調査による「企業が選ぶ弁護士ランキング」
の税務部門で、第1位に選ばれた。
成長する企業を育成するために、人間学を基礎としながら
も、経営と税務・法務を統合した経営モデルを提案している。
成長する企業の参謀となりえる税理士・弁護士の育成の
ため、税務調査士の資格認定講座を創設した。
現在まで、440名超の税理士・弁護士が受講した。
その内訳は、弁護士が100名超、税理士が300名超である。

ごあんない

税理士の未来を明るいものにするのか、暗いものにするのか？それを決めるのは、税理士自身です。現状のままでは、暗い未来の扉を開けることとなります。では、明るい未来の扉を開きたければ、どうすればいいのか？現状の考え方を捨て、新しい考え方に立つ必要があります。では、輝ける明るい未来の扉を開く鍵は何でしょうか？税理士の原点は何かを考え、それに立脚することです。輝ける未来の扉を開く税理士の原点と税務調査の関係を明らかにします。

講座内容

- ① 税理士の名刺は、生保セールスマンの名刺と同じ価値
- ② 変革期の今、生き残るため、納税者は大きく考え方を变えつつある
- ③ 変革期の今、税理士も考え方を变える必要がある
- ④ 衰退の発想⇒税理士の原点は適正な納税のために存在する
- ⑤ 繁栄の発想⇒税理士の原点は黒字で納税する企業を多くすること
- ⑥ 成長する納税者の立場に立ち、税務実務の全体を見渡す～輝ける未来の扉が見えてくる
- ⑦ 税務実務の全体の中核は税務調査
- ⑧ 税務調査が分かると、新しい市場と新しい職域が見えてくる
- ⑨ 国家資格の上に、プラスするものがあれば、輝ける未来の扉が開く

セミナー詳細・お申込は、ホームページからでもご利用可能です。

TAP実務セミナー

検索

